



長崎 任男議員
企画総務消防常任委員会

Q Jリーグのチーム誕生の可能性は

A 関係の方と協力しトップセールスに参りたい



その他の質問

- ・世界遺産登録に向けて彦根市として今やるべきことは
- ・機運醸成は図られているのか
- ・リスクリングについて

Q 1月に開催された金亀公園多目的競技場のオープニングイベントには、参加された来賓の皆様から、彦根から将来の日本を背負って立つプロサッカー選手の誕生を期待すると賞賛のメッセージをいただいた。この多目的競技場の特徴は。

A 整備に使用した日本サッカー協会認定の人工芝は、芝の厚みや耐久性など、現時点で国内トップレベルの製品である。

Q 平和堂HATOスタジアムを本拠とするJリーグチームの誕生の可能性は。

A 昨年、市役所を表敬訪問いただいた元サッカー日本代表の本田圭佑氏から「できることがあったら協力させてもらう」という話をいただいた。設計担当者からもJリーグ基準に十分拡張の余地はあると聞いているので、関係者と協力しトップセールスに参りたい。



▲リニューアルされた金亀公園多目的競技場



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q 市民や利用者に愛される(仮)中部館を目指すべきでは

A ご意見を伺いながら市民や利用者にも愛される図書館整備に努める



その他の質問

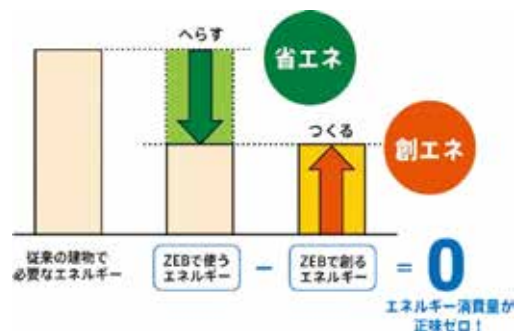
- ・彦根シティマラソンは平和堂HATOスタジアムを活用するのか
- ・市のヤングケアラー把握の結果について教育長の見解は

Q 限られた財源の中で整備する事からも建設的な意見を集め市民や利用者にも愛される図書館(中部館)を目指すべきと考えるが市の見解は。

A 司書や建築家、図書館関係者団体等の皆様による建築設計検討委員会を設置し、ご意見等を伺いながら、市民や利用者にも愛される図書館整備に努める。

Q ZEBとはネット・ゼロ・エネルギー・ビル(Net Zero Energy Building)の略称でゼブと呼ぶ。基本設計を考えるこのタイミングでZEB設計の導入を検討しては。

A 図書館整備を進める上で、環境への配慮やランニングコストの検討は、施設の管理運営においても非常に重要なことでもあり、今回のような大規模改修工事を含む基本設計においても、ZEB設計の考え方を取り入れながら、進めていく。



▲ZEB設計の考え方



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q アクティブラーニング教室の整備目的は

A 子ども自ら主体的に学び、創造的な発想で課題解決するため



その他の質問

- ・MRI増設についての詳細は
- ・深夜の看護師不足への改善方法は
- ・入院中の面会規制の緩和への考えは

Q アクティブラーニング教室の整備目的は。

A 従来の詰め込み型の学びではなく、子ども自ら課題を見つけ主体的に学び、創造的な発想で課題解決できる子どもの育成を目的とする。

Q 今後の教室使用の検討は。

A 小学校ではICT機器を活用したグループ活動等創造的で探求的な学び、中学校ではプログラミング教材を活用した創造的な学びを行う。

Q 3Dプリンタやドローン等の活用方法は。

A 3Dプリンタは美術や図工の授業・クラブ活動でも使用。ドローンは運動会等学校行事での空撮に活用。

Q その他の小学校での整備計画は。

A 令和6年10月のリース満了に合わせて整備予定。

Q 教員のスキル向上、人材確保への考えは。

A ICT教員育成講座にて教員のスキル向上と、ICT支援員の確保に努める。



▲アクティブラーニングの授業風景



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 1枚の看板で救える命がある。看板を設置することはできないか

A 早期に看板を設置することを考えている



その他の質問

- ・市立病院の医療機器更新について
- ・矢倉川改修の推進は
- ・高根橋改修の推進は

Q 2月3日、鳥居本町の国道を横断中の自転車と彦根方面から走行

してきた自動車とが出合い頭で事故となり、女性がお亡くなりになられた。佐和山町の県道を西に入る細い道がある。この道は国道の歩道に接続されおり、以前は接続されている旨の表示がされていた。県道沿いに1枚の看板を設置することはできないか。

A このアンダーパスはわかりにくい位置にあり、利用者も限られていると認識している。国道8号を安全に横断できる道路があることを明示することは有効であるので、早期に看板を設置することを考えている。

Q いつ頃設置できるか。

A 遅くとも4月中には設置したい。

Q 周知方法は。

A 自治連合会の調整会議で文書等でお知らせし、連合会から各自治会長に周知をお願いしたい。



▲国道8号沿線歩道につながる道路



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 前年度比3.7%減の当初予算案について、基本的な方針は

A 4つの重点項目に予算を配分した



その他の質問

- ・使用済み紙おむつの園内処理費589万円は、子育て支援の大きな一歩

Q 前年度比3.7%減の当初予算案について、基本的な方針は。

A 限りある財源の中で、リセットの視点で、徹底した事業の見直しを図った。その中で、①市民の生命、財産を守る施策、②人口増加に結びつく施策、③彦根の価値を高めるブランディングに繋がる施策、④デジタルトランスフォーメーションの推進の4つを重点項目にして予算配分した。

Q 実質公債費比率（令和3年度6.0%）は、今後どのように変化していくか。

A 令和9年度において財源不足に対応した場合は、12.8%、しない場合は、14.0%と見込んでいる。

Q ふるさと納税は歳入として寄附受入額10億円を見込んでいるが、実質収支見込みは。

A 寄付受入額から、経費を差し引いた額は約4億円の見込み。



▲令和5年度予算書・資料



上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q 彦根市もがん患者に対してウィッグの補助を実施すべきでは

A 滋賀県がん患者のアピランスサポート事業を新年度から活用する



その他の質問

- ・9価HPVワクチンについて
- ・文化財の保護事業について

Q がん患者に対してのアピランスサポートは。

A 県がん患者のアピランスサポート事業は、がん患者の社会生活支援や経済的支援を行う目的として、がん治療に伴う外見変化（アピランス）を補うため医療補整具、具体的には医療用ウィッグ、乳房補整具の購入をした方に、市町が購入費用の一部を助成した場合に県が市町に対して補助金を交付するもの。

Q 本市でもがん患者に対してウィッグの補助をしては。

A がん患者のアピランスケアは療養上、非常に重要であると考えており、がん患者の社会生活の支援と療養生活の質の向上を目的に、県がん患者のアピランスサポート事業を活用し、医療用ウィッグ、乳房補整具の購入費用の助成につき、令和5年度当初予算案に計上している。



▲医療用ウィッグの一例